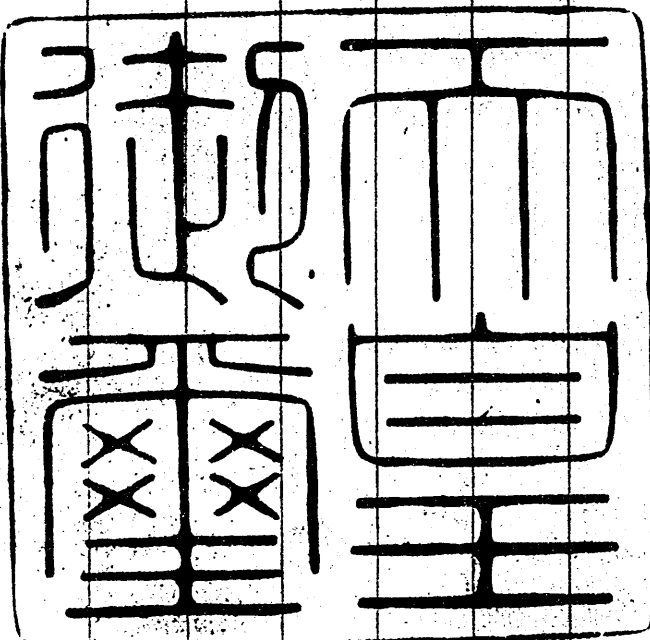


勅令第六百六十七號

朕金屬類回收令改正ノ件ヲ裁可シ
茲ニ之ヲ公布セシム

裕仁



昭和十八年八月十一日

内閣總理大臣 東條英機
逓信大臣 寺島 健
商工大臣 岸 信介
鐵道大臣 八田 嘉明
内務大臣 安藤 紀三郎
大東亞大臣 青木 一男

勅令第六百六十七號

金屬類回收令

第一條 國家總動員法（昭和十三年勅令第三百十七號）ニ於テ依ル場合ヲ含ム以下同ジ）第八條ノ規定ニ基ク回收物件ノ譲渡其ノ他ノ處分、使用、所持及移動竝ニ同法第十六條ノ二ノ規定ニ基ク事業ニ屬スル設備タル回收物件ノ出資ニ關スル命令ニ付テハ本令ノ定ムル所ニ依ル

第二條 本令ハ戦力ノ増強ニ資スル爲鐵、銅若ハ鉛又ハ此等ノ金屬ヲ主タル成分トスル合金ノ供給ノ確保ヲ圖ルコトヲ目的トス

第三條 本令ニ於テ回收物件トハ前條ノ金屬又ハ合金ヲ主タル

材料トスル物資ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノヲ謂フ

一 命令ヲ以テ指定スル事業ノ用ニ供スル物資ニシテ命令ヲ以テ指定スルモノ

二 命令ヲ以テ指定スル施設ニ備附ケタル物資ニシテ命令ヲ以テ指定スルモノ

三 前二號ニ掲グルモノノ外命令ヲ以テ定ムル物資

第四條 商工大臣ハ回收物件ヲ所有シ又ハ權原ニ基キ占有スル者ハ第六條ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定スル者ヲ除クニ對シ一般的ニ回收物件ノ譲渡其ノ他ノ處分、使用又ハ移動ニ關シ必要ナル制限ヲ爲スコトヲ得事業ニ屬スル設備タル回收物件ノ出資ニ付亦同ジ

第五條 商工大臣ハ回收物件ヲ譲受ケ若ハ賃借シ又ハ事業ニ屬スル設備タル回收物件ノ出資ヲ受ケントスル者ハ第六條ノ規定ニ依リ商工大臣ノ指定スル者ヲ除クニ對シ一般的ニ回收物件ノ譲受、賃借又ハ出資ヲ受クルコトニ關シ必要ナル制限ヲ爲スコトヲ得

第六條 商工大臣ハ回收物件ノ所有者ニ對シ期限ヲ指定シテ商工大臣ノ指定スル者ハ以下回收機關ト稱スニ當該回收物件ノ譲渡ノ申込ヲ爲スベキコトヲ命ズルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ譲渡ノ申込ヲ爲スベキコトヲ命ゼラレタル所有者同項ノ期限迄ニ譲渡ノ申込ヲ爲サザルトキハ其ノ期限到來ノ日ニ於テ譲渡ノ申込ヲ爲シタルモノト看做ス

第七條 前條ノ規定ニ依リ回收機關ニ對シ回收物件ノ譲渡ノ申込アリタル場合ニ於テハ當該回收物件ノ撤去ハ引取及撤去ニ因リ生ジタル破損箇所ノ修理並ニ回收物件ノ用途又ハ備附ノ狀況ニ鑑ミ特ニ必要トスル代替物件ノ備附ハ地方長官之ヲ行フ但シ回收物件ヲ所有シ又ハ權原ニ基キ占有スル者ニ於テ當該回收物件ノ撤去、撤去ニ因リ生ジタル破損箇所ノ修理又ハ代替物件ノ備附ヲ行フヲ妨ゲズ

地方長官前項ノ規定ニ依ル職權ヲ行フニ當リテハ其ノ指揮監督ノ下ニ其ノ指定スル回收機關其ノ他ノ者ヲシテ必要ナル作業ニ從事セシムルヲ例トス

地方長官第一項ノ規定ニ依リ回收物件ノ撤去又ハ引取ヲ行フ

場合ニ於テハ當該回收物件ヲ所有シ又ハ權原ニ基キ占有スル者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ
地方長官第一項ノ規定ニ依リ回收物件ノ撤去又ハ引取ヲ爲シタルトキハ譲渡契約ノ履行ニ付テハ當該回收物件ハ譲渡ノ申込ヲ受ケタル回收機關ニ引渡アリタルモノト看做ス

第八條 第六條ノ規定ニ依リ回收物件ヲ回收機關ニ譲渡スル場合ニ於ケル譲渡價額ハ商工大臣之ヲ定ム但シ商工大臣必要アリト認ムルトキハ其ノ定ムル基準ニ依リ當事者間ノ協議ニ依リ之ヲ定メシムルコトヲ得

前項但書ノ規定ニ依ル協議ニ依リ譲渡價額定マリタルトキハ當該譲渡價額ハ商工大臣ノ定メタルモノト看做ス

第九條 第六條ノ規定ニ依リ回收物件ヲ回收機關ニ譲渡スル場合ニ於テハ當該回收物件ノ撤去費其ノ他引渡ニ要スル費用及修理費ハ商工大臣ノ指定スル回收機關ノ負擔トスルモノトス
回收物件ノ用途又ハ備附ノ狀況ニ鑑ミ特ニ代替物件ノ備附ヲ必要トスル場合ニ於テ代替物件ノ價額ト其ノ備附ニ要スル費用ノ額トノ合計額ガ當該回收物件ノ前條ノ規定ニ依ル譲渡價額ヲ超ユル場合ニ於ケル其ノ超過分ニ付亦同ジ

第七條 第一項本文ノ規定ニ依ル代替物件ノ備附ノ場合ニ於テハ代替物件ノ價額及其ノ備附ニ要スル費用ハ前項ノ超過分ヲ除クノ外回收物件ノ譲渡ヲ受クベキ回收機關ノ負擔トスルモノトス此ノ場合ニ於テ當該回收物件ノ回收機關ニ對スル譲渡

價額ハ前條ノ規定ニ依ル譲渡價額ヨリ當該回收機關ノ負擔スル代替物件ノ價額ト其ノ備附ニ要スル費用ノ額トノ合計額ヲ控除シタル額トス

回收物件ガ都道府縣又ハ市町村若ハ之ニ準ズルモノノ所有ニ屬スルモノナル場合ニ於テハ修理費並ニ代替物件ノ價額及其ノ備附ニ要スル費用ハ前二項ノ規定ニ拘ラズ當該都道府縣又ハ市町村若ハ之ニ準ズルモノノ負擔トス

第一項及第二項ノ規定ニ依リ回收機關ノ負擔スベキ額ハ商工大臣ノ定ムル基準ニ依リ地方長官之ヲ定ム但シ地方長官必要アリト認ムルトキハ第一項ノ規定ニ依リ回收機關ノ負擔スベキ額ニシテ第七條第一項但書ノ規定ニ依リ回收物件ノ所有者又

ハ占有者ニ於テ撤去、修理又ハ代替物件ノ備附ヲ爲ス場合ニ於ケルモノニ付商工大臣ノ定ムル基準ニ依リ當該所有者又ハ占有者ト當該回收機關トノ協議ニ依リ之ヲ定メシムルコトヲ得

前項但書ノ規定ニ依ル協議ニ依リ回收機關ノ負擔スベキ額定マリタルトキハ當該額ハ地方長官ノ定メタルモノト看做ス

第十條 回收物件ニ關シ強制競賣手續、國稅徵收法ニ依ル強制徵收手續又ハ土地收用法、工場事業場使用收用令、土地工作物管理使用收用令若ハ總動員物資使用收用令ニ依ル使用若ハ收用ノ手續其ノ他此等ノ手續ニ準ズベキモノノ進行中ナルトキハ其ノ進行中ニ限リ當該回收物件ニ關シテハ第四條乃至第

六條及第十三條ノ規定ハ之ヲ適用セズ

第十一條 第六條ノ規定ニ依リ爲シタル回收物件ノ譲渡ハ他ノ法令ニ拘ラズ其ノ效力ヲ有ス

第六條ノ規定ニ依リ譲渡スベキ回收物件ニ付存シタル擔保權ハ他ノ法令ニ拘ラズ當該回收物件ニ付其ノ譲渡ノ時ヨリ之ヲ行フコトヲ得ズ

前項ノ場合ニ於テハ當該擔保權者ハ當該回收物件ノ對價トシテ受クベキ金錢又ハ有價證券及其ノ對價ニ關シ企業整備資金措置法第四條ノ規定ニ依リ取得シタル同法第十四條第一項ニ掲グル債權並ニ當該回收物件ニ付第九條第一項ノ超過分トシテ受クベキ金錢ニ對シ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第十二條 第六條ノ規定ニ依リ回收物件ヲ回收機關ニ譲渡シタル場合ニ於テ當該回收物件ガ知レタル擔保權ノ目的タル場合ニ於テハ回收機關ハ當該回收物件ノ對價トシテ支拂フベキ金銭又ハ有價證券及當該回收物件ニ付第九條第一項ノ超過分トシテ支拂フベキ金銭ヲ供託スベシ

前項ノ場合ニ於テハ當該擔保權者ハ同項ノ規定ニ依リ供託セラレタル金銭又ハ有價證券ニ對シ其ノ權利ヲ行フコトヲ得

第十三條 商工大臣ハ回收機關ニ對シ時期、方法、相手方其ノ他必要ナル事項ヲ指定シテ回收物件ノ譲受、譲渡其ノ他ノ處分、使用、所持及移動ヲ命ジ又ハ回收物件ノ譲渡、使用、所持及移動ニ關シ必要ナル制限ヲ爲スコトヲ得

第十四條 國家總動員法第二十七條ノ規定ニ依リ補償スベキ損失ハ第六條及前條ノ規定ニ基ク處分ニ因ル通常生ズベキ損失トス

前項ノ損失ノ補償ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第十五條 商工大臣又ハ地方長官ハ回收物件ニ關シ國家總動員法第三十一條ノ規定ニ依リ回收機關及回收物件ノ所有者其ノ他ノ關係人ヨリ必要ナル報告ヲ徴シ又ハ當該官吏ヲシテ當該回收物件ノ所在ノ場所其ノ他必要ナル場所ニ臨檢シ業務ノ狀況若ハ當該回收物件、書類、帳簿等ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帯セシムベシ

第十六條 商工大臣ハ本令ニ規定スル職權ノ一部ヲ地方長官ニ委任スルコトヲ得

第十七條 本令中商工大臣トアルハ朝鮮、臺灣又ハ南洋群島ニ在リテハ各朝鮮總督、臺灣總督又ハ南洋廳長官トシ地方長官トアルハ朝鮮ニ在リテハ道知事、臺灣ニ在リテハ州知事又ハ廳長、南洋群島ニ在リテハ南洋廳長官トス

第九條第三項中都道府縣又ハ市町村トアルハ朝鮮ニ在リテハ道又ハ府邑面、臺灣ニ在リテハ州若ハ廳又ハ市街庄、南洋群島ニ在リテハ南洋群島地方費トス

第十八條 本令ハ所有者若ハ權原ニ基ク占有者又ハ其ノ世帶員ノ日常生活ノ用ニ供スル物資（家庭用物件）ニハ適用ナキモ

ノトス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス但シ朝鮮、臺灣又ハ南洋群島ニ在リテハ昭和十八年九月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行前從前ノ罰則ヲ適用スベカリシ行爲及本令施行前回收機關ニ對シ讓渡ノ申込アリタル回收物件ニ付テハ仍從前ノ例ニ依ル